

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 2月26日

【評価実施概要】

事業所番号	2970300287
法人名	有限会社 か も ん
事業所名	グループホームやたさん元気村
所在地	奈良県大和郡山市矢田町4446-4 (電話) 0743-53-3469
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成21年2月18日

【情報提供票より】(21年1月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	9 人
利用定員数計	9 人
常勤	7人
非常勤	2人
常勤換算	7.5人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨一部木造造り
	2階建て 1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,750 円	その他の経費(月額)	15,750 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 925円			

(4) 利用者の概要(1月10日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	4名	要介護2	4名		
要介護3	1名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 79.2歳	最低	70歳	最高	87歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ハートランドしぎさん・林医院他
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、矢田丘陵の麓の田畑が広がる自然豊かな地に民家を改築し開設されました。ここでは、地域住民との関わりを大切に普通の家庭での生活をエンジョイ出来ることを運営方針とされ、入居者本位の支援に努められています。入居者も、自分の特技や能力を生かしながら、自分のリズム・ペースで穏やかに生活されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域密着型サービスとして、地域住民との交流を大切とする理念を規定上での明確化、自己評価への全職員の参画・終末期の対応方針の明確化と職員の共有が図られ、実践に努められています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義・目的を正しく理解され、全職員の参画の下に取り組み、課題の分析と質の向上に活かされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議では、入居者の現況・各種行事の実績や予定・外部評価結果の報告等のほか、運営に関わる事項について意見交換がなされています。なお、開陳された意見等は検討・検証しサービスに活かすよう努められています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時等の機会を捉え、不安に感じられている事や相談・苦情等を積極的に聞きだす取り組みがなされていると共に、家族会に於いて要望等を聞き出し課題の掌握と解決を職員会議で検討し運営に反映されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の祭りや地域活動(ごみ・カン拾い)への参加と共に、ホーム内の各種行事(運動会・クリスマス会等)への招待等による積極的な交流が図られています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業開始以来、地域との関わりを大切に運営・実践されてきましたが、地域密着型サービスへの制度改正の趣旨を踏まえ、一層の交流促進と自立支援の方針を明確にした理念が作られています。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月開催されるホーム内研修で、理念の共有・実践について話し合いがなされているほか、フロアーの見易い場所に理念を掲出し、日々の支援の中で活かす取り組みがあります。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭りや地域活動(ごみ・カン拾い)への参加と共に、ホーム内の各種行事(運動会・クリスマス会等)への招待等により交流が図られています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、外部評価や自己評価での結果を真摯に受け止め、職員会議で検証・検討され質の向上に活かす取り組みがなされています。なお、全職員を対象に、ケアに対する達成度を測るために、毎年1回独自の自己評価が実施されています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	行政職員や地元代表者等からなる運営推進会議が設置され定期的に開催されています。会議では、入居者の現状・各種行事の実績や予定・外部評価結果の報告等のほか、運営に関わる事項について意見交換がなされています。なお、開陳された意見等をサービスに活かすよう努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスに制度改正されたことで、行政との連携は不可欠の思いから、各種情報の交換や運営上の相談等一層の連携強化に努められています。また、行政の要請を受け「サポート養成講座」の講師として活動されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との信頼・協力関係の維持を大切にされ、担当職員の手書きによる一人ひとりの生活の状況や金銭管理の状況等を毎月報告されています。なお、健康状態に変化が見られる時には、随時報告・相談されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時等の機会を捉え、不安を感じられている事や相談・苦情等を積極的に聞きだす取り組みがなされていると共に、家族会に於いて要望等を聞き出し運営に反映されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活を維持する上で馴染みの関係は大きな要因との考えがあり、職員異動時には紹介・挨拶をしっかりとされ、入居者の不安・混乱の抑止に配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、職員の育成には大変熱意があり、認知症に関する外部研修には積極的に参加を勧め、参加者にはレポートを提出させ、回覧等で全ての職員の学習・育成が図られています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者等幹部職員は、講演会やセミナーに参加され、同業者との情報交換や交流に努められています。		職員の質やサービスの質を図る上で、同業他社との交流から得るものも大きいと思料いたしますので検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居に際しては、ホームの見学時等に食事やおやつ・レクの時間帯を活用して馴染みの関係作りに工夫され、安心・納得への取り組みがなされています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居時に得た生活歴等の情報や入居後の生活の状況を十分把握し、特技や能力を発揮し共に支えあう関係作りの機会の設定に工夫され、安心・満足できる生活の維持に協働されています。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の暮らしの中から、一人ひとりの思いや意向の把握に努めると共に、家族からの情報も得てその人らしい生活が出来るように支援されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、その人らしく暮らし続ける事を基本に全職員の参画の下に作成されています。作成にあたっては、家族からの意見やカンファレンスの情報を反映したのものとなっています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間を6月とされ、定期的な見直しはもとより状態に変化が見られる時には、関係者が相談され随時の見直しが行なわれています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の要望(医療機関の受診・買い物)に応じ、その送迎等家族の状況を勘案しながら柔軟に対応されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の希望を優先し、かかりつけ医の受診支援がなされています。また、定期的に看護師の訪問があり適切な医療確保が図られています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期への対応は家族等にとっては極めて関心の高い事であることから、関係者が十分協議され明確な指針が作成されています。なお、全職員にも周知され方針の共有化が図られています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者を常に人生の先輩と敬い言動には注意し支援されています。また、毎月の職員会議等で尊厳の遵守や個人情報の取り扱いについて徹底する取り組みがなされています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日のタイムスケジュールの設定はありますが、一人ひとりの希望やペースを尊重した支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自家菜園で収穫した食材の整理・盛り付け・配膳等一人ひとりの能力応じて協働され、和やかな雰囲気の中で職員と一緒に食事を摂られています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の基本的な設定があります。入居者は、その間で希望時間を選び本人のペースで入浴されています。		職員の勤務の関係から、夜間入浴を支援するまでに至っていませんが、実施に向けて検討を期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴等を基に、特技や趣味(食事準備・洗濯・清掃・菜園作業等)を活かせる機会を設定し、役割や楽しみ事を自然に行動できるよう工夫・支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な周辺散歩と共に、温泉足浴・大型店への買い物・外食等を入居者の希望を取り入れた計画もあり、外出機会の確保が図られています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害を正しく理解され、しっかりした見守りの対応により玄関は常に開放されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災発生を想定して、避難・消火訓練を地域の方の参加の下に定期的実施されています。		緊急時の応援・協力への働きかけをされていますが、地域全体に浸透するまでには至っていない様に感じられますので、一層の体制整備を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分補給の状況を詳細に記録され健康管理に十分配慮されています。なお、栄養バランスについても管理栄養士に適宜相談されています。また、状態に合わせた調理への工夫もなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はあまり広くはありませんが、トイレ・浴室等の清掃も行き届き、また、季節に応じた装飾がなされ穏やかに過ごせる場所となっています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が使い慣れた家具・調度品等を持ち込み、一人ひとりが安心して暮らせる居室になっています。		